

令和3年度 社会福祉法人 大埴福祉協会

事業報告

新型コロナウイルス感染症の流行が治まらず、生活行動や就業の制限によって、家庭環境の変化が進み、子育て家族の支援の必要性がますます高まっています。

少子高齢化、核家族化の問題だけでなく、感染症予防対策による、外出等の活動制限によって経済の停滞、雇用の悪化等、多くの家庭において、子どもを取り巻く環境が大きく変化している状況の中、様々な制限によって、思い通りの支援や活動が行き届いていない状況が続きました。

エッセンシャルワーカーである保育施設は、日常生活における必要不可欠な社会経済活動を担っている、最も重要な機関であることから、新型コロナウイルス感染症の収束をより早く実現するために、施設内での感染予防対策及び各職員が感染リスクを減らすための行動制限や自己管理を徹底しながら、適切な施設運営と最大限の支援に取り組みました。

業務省力化は、予てから計画していました、保育管理システム（コードモン及びウェブさくら）を、補助金制度を活用して導入。

業務省力化だけでなく、システムの活用により、園児の姿や保護者との連絡をレスポンス良く取れることが可能となりました。

子育て支援拠点事業についても、できる限り直接来所頂ける環境を準備して取り組みましたが、県からの警戒レベルの引上げ等により、来所の制限をかける期間も多く、より細やかなサービスが提供できるよう、SNSを活用したサービス等を実施しました。

「南海トラフ地震」等に備えた防災・減災対策については、BCPの精度を向上させるための研修に参加し、自施設において避難訓練を定期的に行い、既存のマニュアルを検証し、発災時のリスクを見つけ出し、再度検討を重ねながら、「事業継続計画Ver4.1」に取りまとめました。

また、社会福祉充実計画の事業である新築移転については、保護者会及び南国市の法人立保育園の協力を得て、署名活動を行い、南国市長に要望書を提出致しました。

1. 法人の基本方針

(1) 法人全体の理念として

法人理念

「生きるいのち」「輝くいのち」を育むために

法人と職員は、法人理念を実現するために、常に品位を保持し、誠実に職務を遂行し、日々研鑽を積み、最善の努力をするものとする。

保育方針

慈愛と専門性により、仏性を持って生まれた一人ひとりの子どもを、健全に、たくましく、心豊かに生きる力の根を張ってゆく保育を目指します。

(2) 法人が取り組む事業（社会福祉法に基づき定款に明示）

第二種社会福祉事業

- (イ) 吾岡保育園の設置経営
- (ロ) 大篠保育園の設置経営
- (ハ) 地域子育て支援拠点事業の経営
- (ニ) 病児保育事業
- (ホ) 利用者支援事業

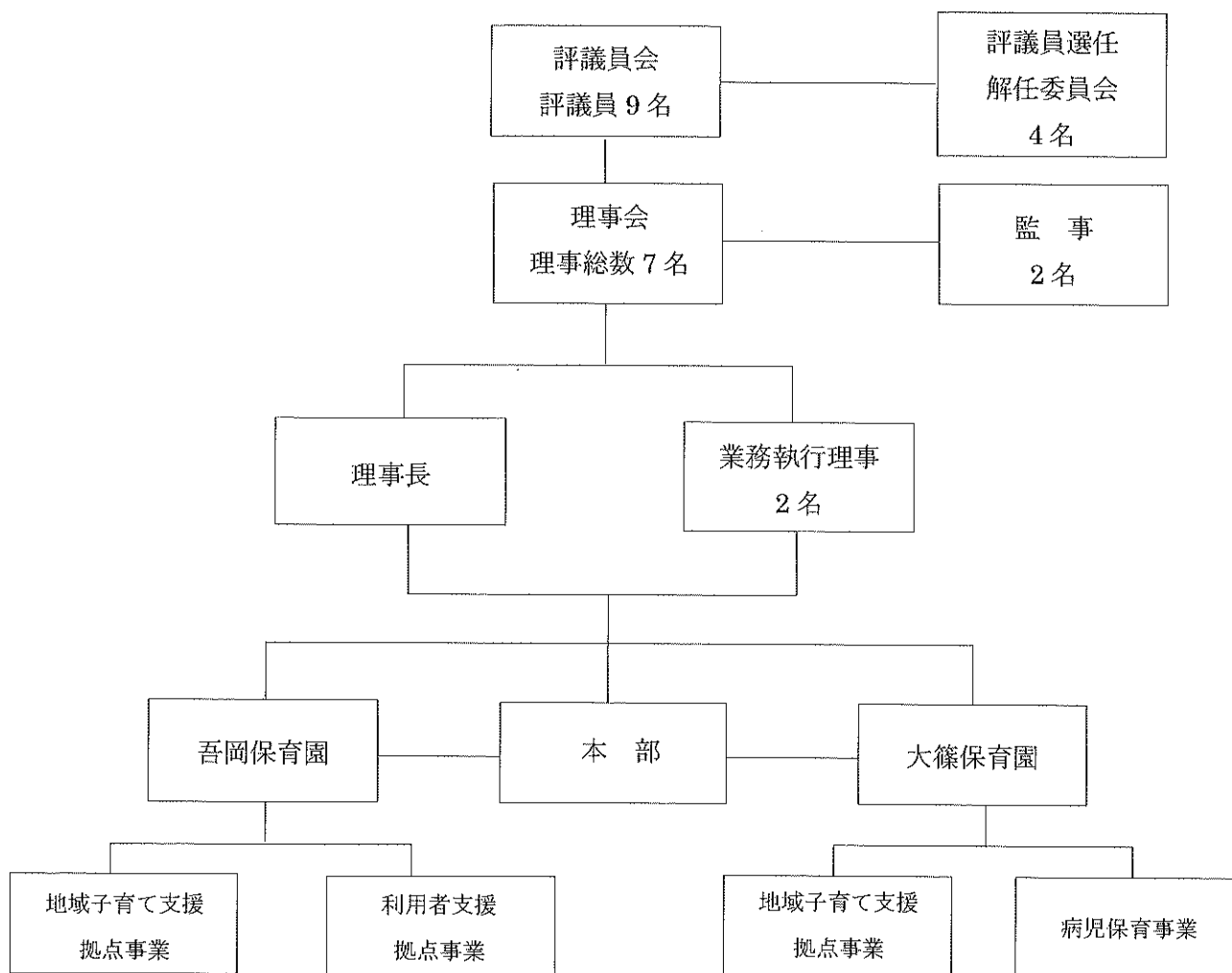
(3) 重点課題

【令和3年度 事業重点課題】

- ① 法令遵守・透明性のある法人運営
- ② 社会福祉充実計画への取組（園舎建替え）
- ③ 地域での公益的な取組（災害対策連携）
- ④ 防災・減災対策への取組（BCPの検証と見直し）
- ⑤ 職員の人材確保、定着にむけた取組（高齢者継続雇用・SNSの活用方法）
- ⑥ 感染症予防対策（予防対策）

2. 組織体制

令和3年度（任期满了につき、評議員・役員・委員等を新たに選任）



3. 理事会

令和3年度 理事会

第1回理事会	令和3年5月26日	理事総数（7名）	欠席：0	監事総数（2名）	欠席：0
場 所	大徳寺 位牌堂	その他	事務：尾立・松下		
第1号議案	令和2年度 本部、吾岡、大篠保育園事業報告・収支決算承認の件				
第2号議案	社会福祉充実計画変更の承認の件				
第3号議案	令和3年度 第1回定時評議員会招集の件				
第4号議案	評議員選任・解任委員の選任の件				
第5号議案	評議員選任・解任委員会の開催について				
第6号議案	役員賠償保険の継続契約の承認の件				
報告事項等	理事長及び業務執行理事の職務執行の報告				

第2回理事会	令和3年6月12日	理事総数（7名）	欠席：0	監事総数（2名）	欠席：0
場 所	大徳寺 位牌堂	その他	事務：尾立		
第1号議案	理事長の選定の件				
第2号議案	業務執行理事選定の件				
その他	現況報告と協力依頼				

第3回理事会	令和4年2月24日	理事総数（7名）	欠席：0	監事総数（2名）	欠席：0
場 所	大徳寺 位牌堂	その他	事務：尾立		
第1号議案	令和3年度 第1次資金収支補正予算（案）承認の件				
第2号議案	職員等処遇改善特例事業の件				
第3号議案	就業規則改定の件				
第4号議案	吾岡保育園 認可定員変更の件				
第5号議案	有期契約職員の更新の件				
その他	理事長及び業務執行理事の職務執行の報告				

第4回理事会	令和4年3月30日	理事総数（7名）	欠席：0	監事総数（2名）	欠席：0
場 所	大徳寺 位牌堂	その他	事務：尾立・松下		
第1号議案	令和3年度 第2次資金収支補正予算（案）承認の件				
第2号議案	令和4年度 事業計画（案）承認の件				
第3号議案	令和4年度 予算（案）承認の件				
第4号議案	非正規職員再雇用契約の件				
その他	別表リーダー手当・処遇改善手当について				

4. 評議員会

定時評議員会・・・・・・・・・・1回

第1回定時評議員会	令和3年6月12日	評議員総数（8名）	欠席：1名
その他の出席者・理事長：佐竹和照 業務執行理事：佐竹玉衣（吾岡園長）・高村由（事務長）・理事：松下千穂（大篠園長）・監事：荒川儀恵・尾立洋一（事務局）			
場 所：大徳寺 本堂			
第1号議案	令和2年度 事業報告の件		
第2号議案	令和2年度 計算書類・財産目録等の承認の件		
第3号議案	理事・監事選任の件		
第4号議案	社会福祉充実計画変更の報告		

決議省略による臨時評議員会・・・・・・・・・・1回

第2回 評議員会	提案日：令和4年3月1日	決議があったものとみなされた日：令和4年3月9日
第1号議案	吾岡保育園認可定員変更の件	

5. 評議員選任・解任委員会

評議員選任・解任委員会・・・・・・・・・・1回

第1回評議員選任・解任委員会	令和3年6月12日	委員総数（4名）	欠席：0名
その他の出席者・理事長：佐竹和照 業務執行理事：佐竹玉衣（吾岡園長）			
場 所：大徳寺 本堂			
第1号議案	評議員選任の件		

6. 内部監査結果（監事監査）

令和4年5月24日に当法人の監事による、令和3年度 事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

事業報告及び理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する事実もなく、計算関係書類及び財産目録についても、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正であることが確認された。

7. 外部監査

令和4年5月25日に岡田税理士事務所による令和3年度 決算に係る計算書類の監査を実施した。

計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものであると確認された。

社会福祉充実残額について、社会福祉充実残額算定シートにおける社会福祉法に基づく事業に活用

している不動産等に係る控除の有無の判定と、事務処理基準、事業に活用している不動産等、再取得に必要な財産、必要な運転資金の再計算を行い、社会福祉充実残額について、再計算を行った上で、社会福祉充実計画における社会福祉充実残額と突合した結果、一致していることを確認された。

8. 研修・勉強会等

事業継続計画に関する研修

月 日	主 催	研 修 内 容
令和3年 8月24日	高知県社会福祉法人 経営者協議会 オンライン研修	<p>第1回 社会福祉法人におけるBCP（初級）研修会 講師：徳島大学環境防災研究センター 特命教授：中野晋 助教授：湯浅恭史</p> <p>研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 過去の被災事例から学ぶ社会福祉施設のBCP ② BCP策定の目的 ③ 自施設リスクと被害想定 ④ 重要業務と目標復旧時間 ⑤ 必要な資源の確認 ⑥ 資源の代替手段の検討 <p>提出課題</p> <p>BCP方針の策定</p> <p>BCP推進体制の構築</p> <p>対象リスクと被害想定</p> <p>重要業務の選定</p> <p>目標復旧時間の設定</p> <p>必要な資源の抽出と代替策</p>
令和3年 9月22日	高知県社会福祉法人 経営者協議会 オンライン研修	<p>第2回 社会福祉法人におけるBCP（初級）研修会 講師：徳島大学環境防災研究センター 助教授：湯浅恭史 危機管理部門 助教授：金井純子</p> <p>研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 過去の被災事例から学ぶ社会福祉施設のBCP (令和元年台風19号災害の事例) BCP策定 ① 初動対応体制と手順 ② 必要な資源の確認 ③ 災害時アクションカード <p>提出課題</p> <p>初動対応体制の構築</p> <p>初動対応フロー作成</p> <p>災害時アクションカードの作成</p>

月 日	主 催	研 修 内 容
令和3年 10月25日	高知県社会福祉法人 経営者協議会 オンライン研修	<p>第3回 社会福祉法人におけるBCP（初級）研修会 講師：徳島大学環境防災研究センター 助教授：湯浅恭史</p> <p>研修</p> <p>① 教育・訓練 ② 必要な事前対策と課題の認識 ③ 見直しと継続的改善</p> <p>提出課題 教育・訓練計画の策定 課題管理表の作成 見直し計画の策定</p>
令和4年 1月17日	高知県社会福祉法人 経営者協議会 オンライン研修	<p>2021年度中国・四国ブロック災害支援セミナー 社会福祉法人の事業継続に向けた取組の推進事業継続計画（BCP） 策定・訓練・地域住民との連携 「全国経営協の災害支援」について 全国経営協災害支援特命チームリーダー：川西 基雄氏 「中国・四国ブロック経営協の災害対応」について 中四国ブロック社会福祉法人経営青年会会長：渡辺 秀一氏</p> <p>講義</p> <p>①「社会福祉法人におけるBCP策定の意義と内容」 ②「BCP」の訓練と地域住民との連携</p> <p>徳島大学環境防災研究センター 特命教授：中野晋 助教授：湯浅恭史</p>

人材確保とソーシャルネットワークサービス

月 日	主 催	研 修 内 容
令和3年 10月27日	株式会社 バイザウェイ オンライン研修	<p>新卒獲得につながる採用活動に適したSNS活用術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人気のSNSの特徴と比較 ・採用活動に最適なSNSとは？ ・新卒や若い人材確保に向けたSNS活用術
令和4年 1月26日	高知県社会福祉法人 経営者協議会	<p>令和3年度SNSの活用セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SNSの比較と特徴」 ・「企業のブランディング化戦略」 ・「Instagramのアカウント作成と使い方」

総合セミナー

月 日	主 催	研 修 内 容
令和3年 12月3日	島根県社会福祉法人 経営者協議会 オンデマンド研修	第31回中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー 「地域共生社会の中核を担う社会福祉法人をめざして」 特別講演 「島根創成」の実現に向けて 基調報告 社会福祉法人をめぐる情勢と経営協の取組 第1分科会 「人材確保・育成」 第2分科会 「地域公益活動」 第3分科会 「災害時の支援体制の構築」
令和4年 3月8日	高知県社会福祉法人 経営者協議会 オンライン研修	令和3年度高知県経営協セミナー 「ポスト コロナに向けた法人経営」 ● 社会福祉法人を取巻く制度動向 ● 長引くコロナ禍において、法人経営者が押さえておくべきポイント ● 社会福祉法人アクションプラン2025のポイント ● 公的価格の抜本的見直しと処遇改善のポイント

9. 主な取組

○ 透明性のある法人運営

評議員及び役員、評議員選任・解任委員の任期満了に伴う選任。内部管理体制を強化するために、役員の役割や権限、責任の範囲等を再確認し、法令に従い選任。改正社会福祉法及びその他の通知等に従い、定款及び諸規程等について適宜見直し、運営状況や現況等についてもホームページ等を活用して広く社会に公開。

○ 吾岡保育園新築移転

令和元年度～令和9年度の社会福祉充実計画の吾岡保育園新築移転事業の対象としている土地について、6月17日業務執行理事2名（佐竹玉衣氏・高村由氏）と理事（門田竊一氏）で、地権者親族と交渉。8月にその後の意向を確認。既存家屋の移転代替地の相談等を受けた。

9月に南国市子育て支援課に出向き、地権者交渉への同行を願い出た。

12月に担当課職員同行での話し合いについてのアポイントを取り付けるとともに現況について確認した。

12月12日に佐竹玉衣業務執行理事、子育て支援課課長並びに課長補佐3名で訪問。

担当課職員が地権者と交渉し、正月に親族で話し合いを持つことを取り付けた。

1月に話し合いの結果について、佐竹玉衣業務執行理事が訪問。概ねご理解いただいているが、売却についての確約までには至っていない。

南国市内の保育園及び保護者の協力を得て、園舎建て替えの要望署名 3,032 名を募り、保護者会を通して市長に提出。

今後も、積極的に行政に働きかけ早期の実現に向けてより一層努力する。

○ ICT化への取組

令和2年度から取り組んでいる保育業務のICT化については、南国市の補助金制度を活用し、本年度にシステムを導入した。

合わせて、Wi-Fi 環境の整備やセキュリティ対策、旧機種のパソコンの入替等も同時に行い、吾岡保育園は令和4年度から本格運用、大篠保育園は、令和4年度から段階的に運用を始める。

○ 法改正に準じた就業規則・規程・協定等の改善

労働法改正、育児・介護休業法、働き方改革法による規則等の見直しや対応について、社会保険労務士の指導を受けながら、対応に努めた。

年度内に5日の年次有給休暇の取得義務や育児・介護休業法改正に伴う育児・介護休業の時間単位取得、処遇改善特例金の配分や就業規則への規定等については執行会議にて検討し、それぞれを改正又は説明責任を果たすため明確に示した。

就業規則、賃金規則、育児・介護休業規則については、令和3年度中に理事会承認を経て、労働局に提出。令和4年度から改正施行する。

働き方改革法の年次有給休暇の取得はルール化されており、取得に関しても推奨している、同一労働・同一賃金については、賃金決定ルール・基準を客観的に見直し、職務や能力等と賃金などの待遇水準との関係性を明確にした。能力開発機会の平等性についても、社労士の助言を受け就業規則別表に明確に示した。

○ 地域における公益的な取り組み

社会福祉法人の地域における公益的な取り組みの実施義務化に伴い、社会福祉法人大埴福祉協会は、地域福祉ニーズに即した、各施設が積極的に実践している子育て支援や地域活動等、既に実践している地域に向けた取組についてSNS（ホームページ、ツイッター）を利用し公開。

子育て支援事業については、警戒レベルに合わせ内容や人数を制限して対応を行った。また、ZOOMを使った音楽会や劇などを配信することにより、繋がりが途切れないように努めた。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外部での活動については中止または、自粛となるケースが多かった。

南国市社会福祉協議会を軸に、南国市内の他の社会福祉法人と連携した、災害時の協力体制や地域での防災や避難者支援等については、コロナ禍により一時中断していましたが、令和4年度から改めてスタートすることとなっている。

○ 人材確保への取組

働きの多様性（パートタイム・定年後の高齢者雇用等）が求められる近年、保育士人材の確保のために高齢者の新規雇用及び継続雇用に積極的に取り組んだ。

定年を迎える職員及び定年を超えて勤務している職員、無期雇用の職員等については、更新希

望者と働き方について面談を行い、双方が納得できる働き方を定め更新することとした。

求人については、新卒に対する学校求人が主な手段、ハローワークのみならず、福祉専門の求人サイト、法人ホームページ等にて求人を行った。

吾岡保育園については、新卒での希望者がおらず、今後の求人方法等について課題が残った。

本年度は、LINEやInstagramを活用した法人のブランディング化を含めた新たな求人方法について研修会で学び、令和4年度から、方法やコンテンツについて検討を始める。

○ 防災・減災対策について

南海トラフ地震に備えた事業継続計画は、「事業継続計画Ver.4」まで見直しを行っていますが、想定される被害や対策本部運営に対応できているか、避難訓練等を通じて検証を行い、適切でない項目や新しい情報等と照らし合わせて、ひとつひとつ改善を行った。

計画の見直しについては、関連セミナーに積極的に参加し、被害想定、事業継続が不可能な場合の想定、今後の計画見直しサイクル等についてBCP策定メンバーにて検討し、「Ver.4.1」にまとめた。

○ 感染症予防対策

新型コロナウイルス感染予防は、適切な予防対策や運営等について、最新の情報収集に努めた。

感染症予防対策として検温器、マウスシールドや消毒液等の手配、勤務時の検温及び体調チェックを徹底し、補助金等を活用した、施設内での感染予防対策（ウイルス除去空気清浄機・衛生管理用品、飛沫防止のパーテーション等を設置）

職員に対して、生活行動の制限を要請。

行事や講習会、参観日等における対策については、各施設において開催の是非、規模の縮小等を含め、検温や消毒方法及び保護者の協力体制等について行事ごとに検討するように指導。

保護者を案内できなかった行事については、保育管理システムを活用したオンデマンド配信等にて対応を行った。

